

# 「野の花の丘便り」 7月下旬

## あらら、いつの間に？

ひと月ほど留守にしていました。ひと月前の6月下旬は「野の花の丘」の主役のヤナギラン、エゾクガイソウ、オカトラノオなどが蕾を持ち、もうすぐの花のシーズンに気持ちもウキウキしていました。それからひと月、それらの花はほぼ終わりに近づき、わずかひと月でこんなにも変わるものかと、時の流れの速さを感じます。

回りを見わたしますとナナカマド、トチノキ、ハマナスなどが早くも実を付けています。秋の七草のオミナエシやハギも咲き始めました。これからが一番暑い季節ですが、植物の世界ではもう秋の気配が漂っています。

一方去年は虫にやられてほとんど花を咲かせなかったクサレダマ（草連玉）が今年は除虫作業の甲斐あってかあちこちで復活して、大変嬉しく思っています。

短い北海道の夏、「暑い暑い」と文句言ってみんなでワイワイとビールでも飲みたいところですが、今年は外飲み自粛、家飲みビールで我慢の日々です。

## 秋の雰囲気の花々

### オミナエシ



### トモエソウ



### ツリガネニンジン



### 復活したクサレダマ

